

八ヶ岳：柳沢大滝小滝 アイスクライム

- ◆日程 2020年2月8日(土)
- ◆メンバー L：佐藤、日比野、小山田、伊藤元、志村
- ◆天候 晴れ

佐藤さんの車に午前5時保土ヶ谷駅で志村、日比野さんを町田の自宅でピックアップいただき、海老名サービスエリアで伊藤さん小山田さんと合流した。小休後、東名、圏央道、中央高速を利用し小淵沢ICと乗り継ぎ、あっという間に美濃戸口駐車場に到着した。ここで装備を整えて歩き出す。最初の橋からアイスバーン状態になったのでアイゼンを着けスピードを稼ぐが、美濃戸山荘手前まで車で入る人も多く何度か自動車に道を譲る。途中、四駆が通り過ぎていったがしばらくして大音響がしたので何かと思ったら林道から樹林帯に転落している四駆の異様な光景に出くわした。



美濃戸山荘で小休後、単調な南沢の樹林帯を登り、程なく柳沢との合流店に到着通行止めのロープから沢に入り小滝に到着、小滝は水が滴り完全に氷結していないが、氷を求めて数パーティーが取りついでいる状態。佐藤リーダーの判断で沢をトラバースして大滝に移動したが、大滝は小滝よりも氷結しているもののやはり数パーティーがトップロープで取り次いでおり密の常態であったが、時間も午後となりパーティーも減り始めたので、佐藤リーダーが大滝正面下部を登りアイスハーケン1本を埋め込み下降、続いて伊藤さんが中段まで登り、トップロープをセットし小山田さんが取り付く。中段を登り切ったところで側壁をトップロープで登っていた男性がスリップし両手にピッケル、バイル、両足にアイゼンで完全武装した男性がターザン状態で小山田さんに襲い掛かり下から見ていて思わずハッとす。衝突は回避され、小山田さんも無事であったが、もし衝突していたらただでは済まない事案が発生したかも知れない。最後の日比野さんが登りロープを回収してアイスクライミングトレーニングを終了した。志村は都合により見学に廻ったが、それなりに楽しく1日を過ごすことができた。夕刻ライトを点けて下山を始め、美濃戸山荘でトイレタイム後、凍った林道をアイゼン装着のまま歩き通し美濃戸口駐車場に到着した。

帰り支度を整え美濃戸口を出発し、以後茅野市内の縄文の湯にて入浴、八ヶ岳PAで食事を済ませ伊藤さん、小山田さんと別れる。佐藤さんに日比野、志村の順で送っていただき自宅についたときには午前12時を回っていた。運転とリーダーを担当いただいた佐藤さんに感謝しつつ長い1日を楽しんだ。

(記：志村)

CT：美濃戸口 8:20 - 美濃戸山荘 - 小滝 - 大滝 - 美濃山荘 - 美濃戸口 18:40